

磐田市 桶ヶ谷沼 ビジターセンター

第186号 2019年11月15日 だより



開館時間：午前9時～午後5時（月曜日 休館）

住所：〒438-0016 磐田市岩井315番地

電話：0538-39-3022 FAX：0538-39-3023

E-mail: okegaya-vc@city.iwata.lg.jp



沼に渡り鳥がやってきた！



秋の深まりとともに、今年も北の国から渡り鳥がやってきました。10月の終わりには、マガモが30羽ほど沼で羽を休めているのが見られました。11月に入って300～400羽とだんだん水鳥の姿が増えてきています。



「ひっつき虫」ってどんな虫？



秋の野原を歩くと服にたくさんの草の実や種たねがくっついてくるよね。くっついた様子が虫むしのようなので、「ひっつき虫」や「くっつき虫」と呼ばれています。植物は自力では動けません。そこで少しでも遠くへ種たねを飛ばして分布を広げる工夫のひとつが「ひっつき虫」です。

身近に見られるいろいろな「ひっつき虫」 🔍

アレチヌスビトハギ



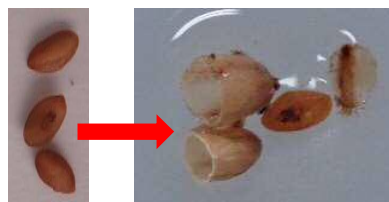
外来のヌスビトハギで「荒れ地」環境に増加中。実の表面はかぎ爪のある細かい毛でおおわれていて、マジックテープのように服にくっつきます。

コセンダングサ



黄色の花はかわいけれど、細長い実のハサミのようなトゲが洋服にくいこんでしまうやっかいなひっつき虫。

オオバコ



実が熟すとふたがパカッと割れて種が出る。種は雨にぬれると粘液を出してネバネバし、くつのウラにくっつく。こうして種を運んでもらうから、人が歩く道ぞいに多く生えているんだね。

* 万葉集に詠まれた植物 その8 * コウヤボウキ



たまばはき 刈り来 鎌麻呂 むろの木と
棗(なつめ)が本と かき掃かんため
長忌寸意吉麻呂 (巻十六-3830)

歌意：たまばはきを刈って来い、鎌麻呂よ。むろの木と
なつめの木の下を掃除するために。

「たまばはき」はキク科の植物「コウヤボウキ」のことです。
コウヤボウキは「高野ぼうき」の意味で、昔、高野山では弘法大師の
言いつけで竹や果樹を植えることが禁じられていました。そのため、
竹ぼうきの代わりにこの枝でホウキを作ったことに由来して、名前が
ついたと言われています。草を刈る鎌のことを「鎌麻呂」と人に見立
てている、おもしろい歌です。【参考：万葉植物事典（北隆館）】

桶ヶ谷沼周辺では日の当たる場所でも、日陰の林の中を歩いても
薄いピンク色で1.5 cmほどのコウヤボウキの花を見かけます。
秋の野にふさわしい素朴な花です。



コウヤボウキの花は
後に白い綿(わた)の
ようになります

* 10月のイベント報告 *



アカトンボ観察会 10月20日(日) 9:30~

アカトンボの種類や見分け方の説明を聞いてから野外観
察に出かけました。アカトンボを一度つかまえて、体の色や
胸のもよう、腹の先の形などを観察して種類を調べたあと、
また空へとトンボを放しました。(講師：保崎 有香さん)



自然とのふれ合いを

※どなたでも参加でき、参加費
は無料です。申し込みは直接
または電話、FAX でビジター
センターへどうぞ

環境にやさしい工作教室

12月15日(日) 9:30~11:30 (受付 9:00~)

自然を材料にした環境にやさしい工作教室をひらきます。



野鳥観察会

1月19日(日) 9:30~11:30 (受付 9:00~)

桶ヶ谷沼に生息する野鳥の説明を受けたあと、野外でマガモなどの水鳥や野鳥の
観察をします。野外活動のできる服装で参加してください。

※どちらの行事も桶ヶ谷沼ビジターセンター集合です。